

ま え が き

「北京日本学研究センター」は、1985年9月、日本国国際交流基金と中華人民共和国国家教育委員会との協議により、北京外国語学院内に独立した研究・教育機関として設置された。設立と同時に入学した修士課程第1期生は、1987年7月に課程を修了したが、そのうち論文を提出し学位審査に合格した24名に対して、1989年4月24日付で、北京外国語学院学位評定委員会から、文学修士（碩士）の学位が授与された。ここに収めた10篇の論文は、それらの学位論文のうち、本編集委員会により選定された優秀作である。いずれも力作ぞろいであることがおわかりいただけると思う。

修士課程修了生は、現在、その多くが中国国内の大学や研究機関に所属し、中国における日本学・日本研究の第一線を担って活躍している。この論集は、そうした将来性豊かな研究者たちの、学界へのいわばデビュー作を収録するものである。私たちは、ここに収められた諸篇の著者たちをはじめ、「北京日本学研究センター」の修了生たちの、卓抜した日本語能力と新鮮な問題意識とが十分に評価され、さらなる学術的発展の礎となることを、心より期待している。

1991年1月 編集委員会